

2020 年度 福岡県看護学会  
研究発表支援マニュアル

**福岡県看護学会の目的と特色**

本学会は、実践にねざした看護研究の支援を通して看護職の学術研究の振興に努め、  
県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的としています。

会員が地元福岡で気軽に参加でき、発表者と参加者がお互いに研鑽し合うことができ  
る「日々の看護を学び合う」学会を目指しています。

また、研究発表を支援する協力体制があります。

福岡県看護協会

〒812-0054 福岡市東区馬出4丁目10番1号

TEL (092) 631-1170

FAX (092) 631-1175

(福岡県看護学会 事務局)

# 福岡県看護学会研究発表支援制度について

## 1. 目的

この支援制度は、福岡県看護学会の研究の質を高めることを目的として設置されました。

研究発表支援員を多く登録し、多様なテーマに対応するとともに、より多くの会員が研究発表支援員を経験することで、研究指導の能力を高めることも併せて目的としています。

## 2. 研究発表支援員の役割

**研究発表支援員は、発表者の研究結果に対して原稿のまとめ方の支援を行い、最終原稿作成までを支援します。**

具体的な役割は次のとおりです。

- 1) 発表者が実施した研究の一連の過程を、研究形式に沿って整理できるように支援する。
- 2) 実施された研究の限界や課題が整理できるように支援する。
- 3) 今後の研究活動に向けて発展的に研究意欲を高めるような支援をする。

## 3. 研究発表支援員の資格

- 1) 福岡県看護協会会員であり、5年以上の実務経験がある。
- 2) 研究発表の経験があり、かつ研究指導の経験がある。

## 4. 研究発表支援員の任期・再任について

3年間（4月1日から翌3月31日までを一年とする。）です。再任は可能です。

## 5. 研究発表支援員登録

- 1) 福岡県看護協会会員が所属する全施設（看護教育機関、病院他）の施設代表者および職能委員会の推薦により選出されます。
- 2) 研究発表支援員は、任期期間中、看護学会研究発表支援員名簿に登録します。

## 6. 支援員制度要請条件

原則として、研究発表支援体制のない施設の発表者とする。

## 7. 研究発表支援員担当の選定

- 1) 学会発表者の研究発表支援員の選定は、原則として学会委員会が専門や得意分野などを考慮して行います。
- 2) 研究発表支援員は、依頼書の受理を持って今年度の研究発表の支援担当となります。

※テーマや演題数により支援を依頼しない年もあります。

## 8. 研究発表支援員の謝金

1 演題につき5,000円をお支払いします。お支払は振込みになります。

## 9. 経費について

指導を受けるための郵送費等の経費は、発表者が負担します。

## 10. 研究発表支援員申し合せ事項

- 1) 研究発表支援員就任依頼を5月上旬、今年度の研究発表支援依頼の有無については6月初旬に全員へお送りします。
- 2) 研究発表支援の依頼を受けた方は、2020年7月10日(金)開催の「発表者と支援員のための説明会及び面談会」  
に必ずご出席願います。

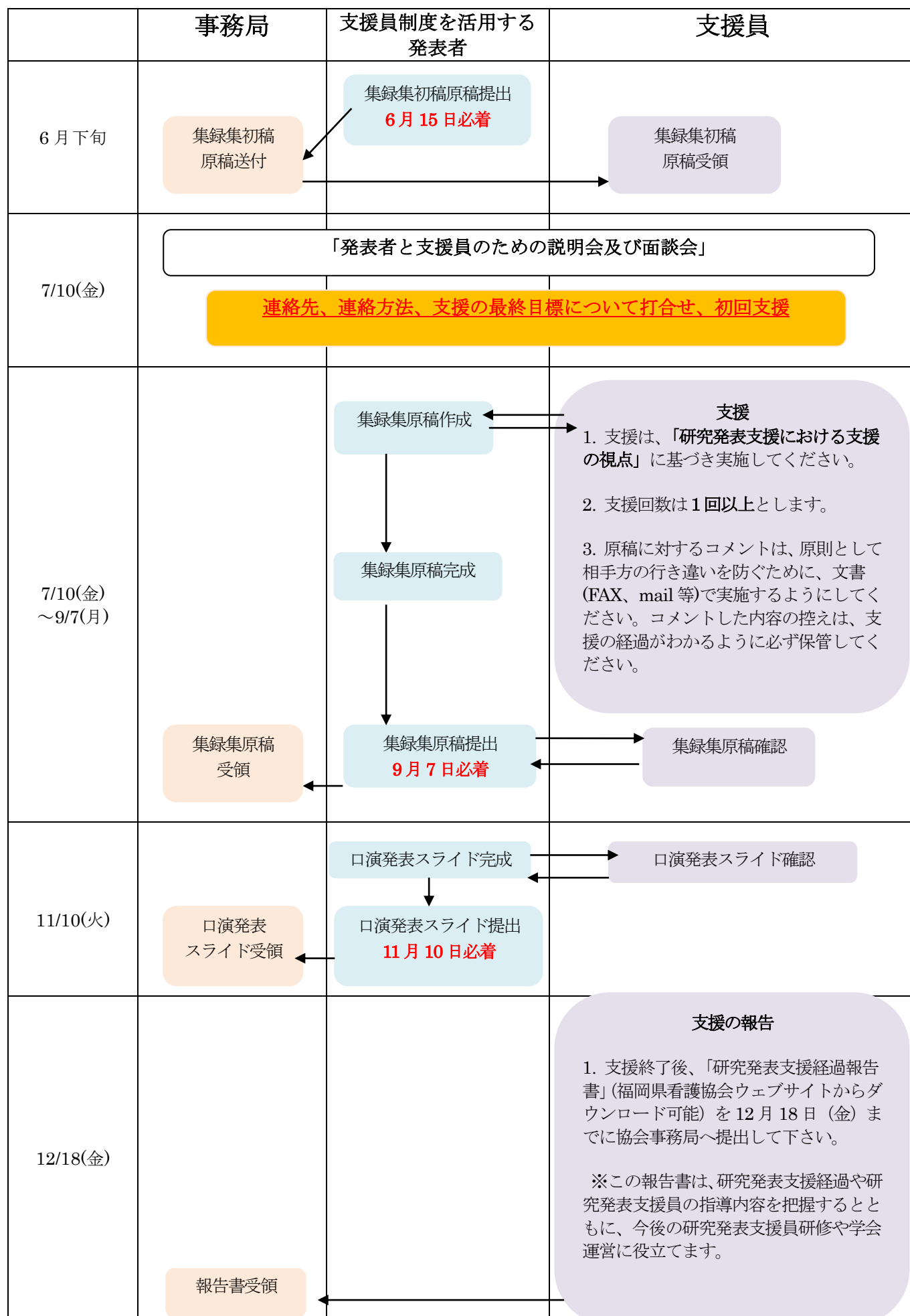
## 11. 研究発表支援員の学会参加について

- 1) 今年度、研究発表支援を担当された方の学会参加費は無料です。(参加証は発行致しません)  
※学会参加申込の際に応募要件欄に「支援員」と明記して申込んでください。
- 2) 学会当日は「支援員受付」で必ず受付をしてください。

研究発表支援に関する問い合わせ先

福岡県看護協会教育研修部 福岡県看護学会担当  
TEL (092)631-1170 FAX (092) 631-1175

## 研究発表支援員が実施する支援プロセス

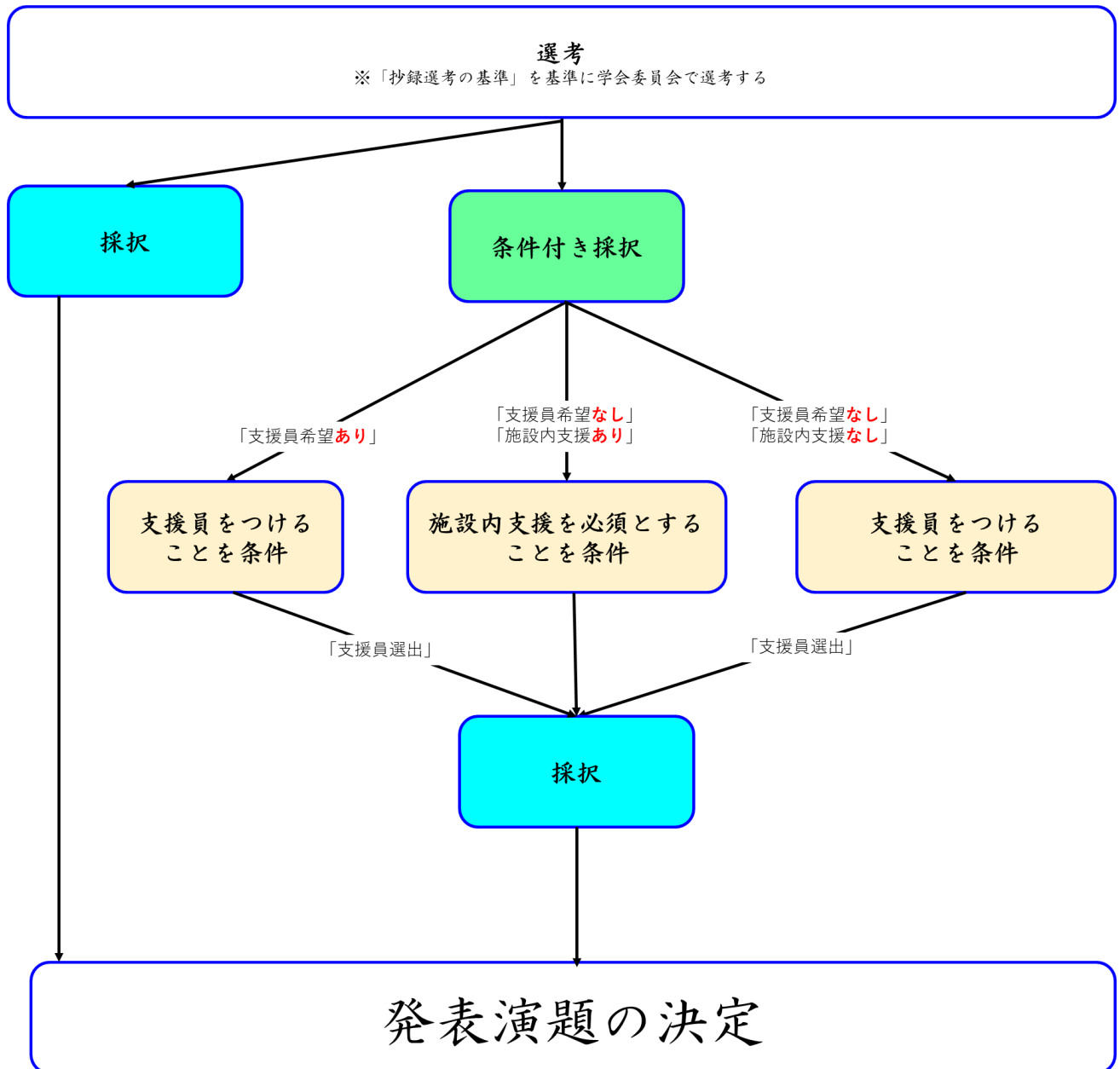


## 研究発表支援の視点

1. 表 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) この研究で何を明らかにしようとしているのかは明確ですか</li> <li>2) キーワードは適切ですか</li> <li>3) 内容を適切に表現していますか</li> </ol>
2. 目 的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究の動機(または意義)が明確ですか</li> <li>2) 過去の文献を検索していますか</li> <li>3) 目的が具体的な言葉(または定義された言葉)で書かれていますか</li> <li>4) この研究により何を明らかにしようとしているかが明確でありますか</li> </ol>
3. 方 法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象の選定方法や特性の記述はありますか</li> <li>2) 対象は適切でありますか</li> <li>3) 研究方法は、研究目的・目標達成のために妥当でありますか</li> <li>4) データ収集の手続きを示していますか</li> <li>5) 倫理的配慮が記載されている</li> <li>6) 研究方法(測定基準・測定用具)を示していますか</li> <li>7) 量的研究の場合、統計処理の方法を示していますか</li> </ol>
4. 結 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 目的に沿った結果を示していますか</li> <li>2) 結果を適切な図表・データで示していますか</li> <li>3) 事実を客観的に示していますか</li> </ol>
5. 考 察	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 結果に基づいた解釈をしていますか</li> <li>2) 目的に沿っていますか</li> <li>3) 適切な文献を引用していますか</li> <li>4) (必要時)研究方法の妥当性についての考察がありますか</li> <li>5) 研究対象の特性についての考察がありますか</li> <li>6) 研究の限界(研究の適応範囲)が述べられていますか</li> <li>7) 研究目的にそった考察で一貫性がありますか</li> </ol>
6. 結 論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本研究で明らかになったことをまとめていますか</li> </ol>
7. 倫理的配慮	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究対象者へ研究内容を説明し、同意を得ていますか</li> <li>2) 研究対象者へのプライバシーの配慮をしていますか</li> <li>3) 研究対象者が特定できないようになっていますか</li> <li>4) 固有名詞(当院・当病棟を含む)を使っていませんか</li> <li>5) 研究への参加によって、対象者に不利益や負担が生じていませんか</li> <li>6) 文献を引用する場合、著作権に配慮し許可を得ているか文献を明記していますか</li> <li>7) 既存の尺度を使用する場合、著作者から許可を得ているか文献を明記していますか</li> <li>8) 倫理委員会等の倫理審査を受けていますか</li> </ol>
8. 文 章	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 読みやすい文章ですか</li> <li>2) 長文ではない、主語述語が明確ですか</li> <li>3) 誤字脱字はありませんか</li> </ol>
9. 集録集の形式	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 原稿は、集録原稿形式に従っていますか(ページ枠・段組・枚数、字の大きさ、行間等)</li> <li>2) 論文の構成は適切ですか【はじめに・目的・方法(対象・期間・方法・分析方法)・倫理的配慮・結果・考察・結論・引用文献等】</li> <li>3) 概念・用語・記号の使い方は適切ですか</li> <li>4) 文献の書き方は適切ですか</li> </ol>

【参考資料】

【抄録選考のプロセス1：採択・条件付き採択の場合】



## 【参考資料】

### 【抄録選考のプロセス 2：保留・不採択の場合】

